

日 時：令和3年3月25日（木）18時30分～20時10分

場 所：碓ヶ関公民館

対象地区：駅前・下町・仲町・おかりや・上町・高田・山の上・三笠・川向・いざよい

参加人数：16名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○市有の施設の利活用について</p> <p>（市民から）</p> <p>ゆうえい館や消防署の旧碓ヶ関分署、碓ヶ関小学校など、今後使用しなくなる施設があるが、利活用については何か考えているのか。そうした施設を利活用し、企業を誘致するなど、若者が働けるような場所を創れないものか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・旧分署は公共施設としての耐震基準を満たしておらず、補強も困難だったことから、新築したものである。活用方法については、今後検討していきたい。 <p>（市民から）</p> <p>廃止が先行してしまい、その後の利活用についての検討が為されていないのではないと思う。みんなで意見を出し合い、利活用の目途がたってから廃止を検討したほうがよいのではないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・企業誘致は非常に困難である。利活用の検討を先行して行っているのは、事業の着手が遅れてしまい、国の補助事業の活用にも影響が出てしまう恐れがある。・碓ヶ関小学校の校舎については、危険な建物を改築するという事業であることから、旧校舎は取り壊す方針である。利活用することは事業の趣旨に反することになる。
<p>○河川の草木伐採や土砂の撤去について</p> <p>（市民から）</p> <p>河川の草木伐採、土砂の撤去を町会で要望したところ、当初は「引き続き県に要望します」との回答だったが、12月5日から平川、12月15日から相沢川の工事に着手すると連絡があった。経緯がまったく不明であり、町会の要望については、もっと状況を明らかにするようにしてほしい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・市から県へ、県から国へと要望されることになり、事業の実施の可否については事前には把握できないことも多いため、回答する時点ではどうしても「引き続き要望します」

との内容になってしまう場合がある。また、県の予算のやり繰りによって急遽事業を実施することになり、回答した内容と実施の時期などにズレが生じてしまうこともあるので、ご理解いただきたい。

(市民から)

できる限り、実際の動きがわかる回答をしていただきたい。

(市から)

- ・担当課に伝える。

○碓ヶ関地域の温泉と地域の今後について

(市民から)

久吉の温泉が閉鎖されると聞いた。温泉会館はときどき修繕するなど、休止する場合もあり、大規模な修繕による長期休業も予定されていると聞いている。道の駅の温泉は狭いうえに、市外の方も入りに来る。今後道の駅の改修も予定されていて、地域の温泉が利用できなくなるのではないかと心配している。碓ヶ関地域にとって温泉は生活の一部となっていて、地域のコミュニケーションの場にもなっている。温泉施設についてもそうだが、碓ヶ関地域は今後どういった計画で進んでいくことになるのか。

(市から)

- ・久吉の温泉については、今年度で閉鎖することが久吉町会との協議により決定している。古懸の温泉は町会が指定管理することとなる予定である。温泉会館は令和4年度に大規模改修を行う予定があり、長期間休業することになると思われる。道の駅については、温泉施設は改修の対象となっていないため、今のところ休業の予定は無い。
- ・地域の活性化を目指し、弘前大学との共同事業や、地域おこし協力隊の任命などを行ってきたが、今のところは活性化にはつながっていないと考えている。今後は道の駅を核として活性化を進めていきたい。

○碓ヶ関公民館の駐車場について

(市民から)

碓ヶ関地域のイベント開催や自主防災の拠点は碓ヶ関公民館になると思っているが、駐車場が狭いのではないかと。

(市から)

- ・近隣に駐車場にできる用地が無いという事情があり、公民館の向かいに公園はあるが、無くさないでほしいとの声もある。旧かんぼの宿についても活用できない状態であるため、もしみなさんに良いアイデアがあれば、提案していただきたい。

○旧かんぼの宿について

(市民から)

長年使用されないまま放置されている旧かんぼの宿について、何か進展は無いのか。

(市から)

- ・現在の所有者と前所有者の間の問題が未だに解決しておらず、連絡を取ろうと試みても、返答がない状況である。

○高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種について

(市民から)

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、高齢者の接種の順番は決まっているのか。

(市から)

- ・現状、青森県に 2,000 回分のワクチンが入ってくるとの情報があり、まったく足りていない。3月12日までに開始できるよう準備しているが、開始時期や高齢者の中での順番など、検討する必要があるかもしれない。ただ、ワクチンの配分スケジュールが不明のため、進めることができない。

○定額給付金について

(市民から)

定額給付金について、中南地域で独自に支給した市町村は無いのか。また、市で独自の支給を実施する考えは無いのか？

(市から)

- ・国が定めた基準日以降に出生した新生児については、独自に支給した。近隣の市町村でも、新生児への支給は行っているようだが、それ以外の独自の支給については、把握していない。
- ・市独自では、飲食・交通・宿泊業は支援する事業を実施している。来年度もプレミアム飲食・交通券の事業を、購入数や参加店舗を拡大して実施する。新型コロナウイルスの影響で中止となったはしご酒まつりの代替事業としてのスタンプラリーや、ねぶたまつりの際に大型スクリーンを設置してのパブリックビューイング、日帰り入浴プランへの助成なども実施する予定である。

○新型コロナウイルス感染症の感染者数の公表について

(市民から)

新型コロナウイルス感染症の感染者数を公表してほしい。詳細な地域や名前はもちろ

ん不要だが、現状市内に感染者がいるかどうかだけでも知らせてほしい。この状況がいつまで続くのかと思っている。

(市から)

- ・公表しない一番の理由は、誹謗中傷を避けるためである。SNSなどの普及により、情報の拡散が早いことも考慮し、現在の公表基準となっている。ひとりひとりが感染予防することがいちばん大事であることは、感染状況の公表の有無にかかわらず、変わらないのではないか。自分が感染しない、人に感染させない対応をお願いしたい。

○温泉会館の改修のスケジュールについて

(市民から)

温泉会館の改修は、いつごろの実施を予定しているか。

(市から)

- ・早くても令和4度の実施となる予定である。

○集団検診の実施時期について

(市民から)

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年の集団検診の実施時期が、例年の5月から12月にずれ込んでいる。来年度も12月の実施になるのか。

(市から)

- ・前回の実施時期から一定の期間を経て実施する必要がある。調整してお知らせすることになる。

○近隣の空き家への対応について

(市民から)

空き家が町会内に十数件あり、そのうちの2軒が屋根雪が落ちてくるなど非常に危険な状態である。猫が繁殖している家もある。そのような場合はどう対応すればいいのか。

(市から)

- ・財産管理人の有無によっても対応が変わってくるが、基本的には所有者個人の責任となる。所有者と連絡をとろうと市に連絡するようお願いしても、連絡がとれないこともある。市が費用を負担して個人の財産に手を加えることは非常に難しいが、建設課とも対応を協議していきたい。
- ・空き家については、全国的に頭を悩ませている問題である。先ども申し上げたとおり、あくまでも個人の財産であることから、法律上の規定により勝手に手を加えることができない。

○自主防災組織の活動について

(市民から)

組織を立ち上げた当初は、備品の整備に対する補助金などがあったが、近年、補助金も少なくなっている。そうした中で今後の組織の活動についてどうあるべきか、今一度考えていただきたい。例えば組織の交流会や講習会を実施することもあっていいと思う。

(市から)

- ・各自主防災組織には新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ができるよう、備品を整備したところである。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、組織の活動の場面も少なくなってしまう。状況が落ちつけば、以前のように活動する場面も出てくるかと思うので、引き続き、防災に対する意識を高めていただきたい。今後、総合防災訓練の実施も検討しており、実施する際には組織のみなさんにもお声がけさせていただきたいと考えている。また、各自主防災組織に1人の防災士を配置することを目標とし、防災士の資格取得にかかる費用を補助している。

(市民から)

県が開催する講習会などに出席する際、他の市町村はバスを手配するなどして参加者を送迎しているようだが、平川市は自力での参加となっている。そういったところから考え直していただきたい。

(市から)

- ・今後検討させていただく。

○道の駅の改修について

(市民から)

現在の通路は買い物する際に狭いと感じている。ショッピングカートを押して十分に通れる幅にさせていただきたい。

(市から)

- ・検討させていただく。

○地域おこし協力隊の活動について

(市民から)

碓ヶ関地域の地域おこし協力隊の隊員が経営していたカフェが閉店してしまった。その要因などは市で把握しているのか。非常にもったいないことだと思う。

(市から)

・当初は、地域おこし協力隊の隊員が碓ヶ関地域を活性化させたいということでカフェを開店した。意欲的に活動していただいていると思っていたが、他の地域で新たな活動をしたいとの思いから、閉店に至ったと聞いている。さまざまな要因があると思うので、今後の隊員の募集の際などに参考にしていきたい。

○学校給食について

(市民から)

学校給食が非常においしいという声がよく聞かれる。給食を作っている方々にぜひ伝えていただきたい。

(市から)

・平川市の給食は美味しいと評判である。私も、年に何回か子ども達と一緒に食べる機会があるが、喜んで食べてもらっているようである。今後もおいしい給食を提供していきたい。